

2025 年度 JICA 教師海外研修（教育行政コース） 募集要項

1. 背景

国際協力機構（JICA）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関であり、約 150 の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、「教師海外研修」「エッセイコンテスト」「施設訪問」「出前講座」「開発教育メールマガジン」「開発教育教材作成」など、国際理解教育/開発教育を支援する様々な事業を行っています。

本研修は日本の ODA による開発教育支援事業の一環として、全国の小中高校・特別支援学校等の児童・生徒への国際理解教育/開発教育を継続的に推進する学校管理職（校長・教頭）および教育行政関係者を対象に実施します。

2. 研修の目的

本研修は、上記の背景を踏まえ、実際に途上国を訪問し、JICA が実施している事業を視察・訪問し、関係者と意見交換等を行うことにより知見を深め、学校および地域において、国際理解教育/開発教育を継続的に推進するリーダーとしての能力強化を目的としています。また、参加者同士の意見交換や協働作業を通して、研修終了後も本研修で培われた教員ネットワークを活用し、各地域の学校教育関係者と共にさらなる国際理解教育/開発教育の推進を図ることを目指しています。

3. 研修日程等

日程	プログラム	内容
2025 年 6 月 21 日（土） 11:00-12:00	事前研修（オンライン）	・ JICA 事業概要、開発教育概要説明 ・ 海外旅行保険、安全管理について
2025 年 6 月 27 日（金） （終日）	事前研修（対面） 会場：JICA 市ヶ谷ビル	・ 研修の目的とプログラム全体の流れ ・ 国際理解教育/開発教育推進について ・ 研修テーマの共有、現地発表準備、海外研修国事情等
2025 年 7 月 15 日（火） 17:00-18:00	出発前オリエンテーション （オンライン）	・ 研修準備 ・ 現地スケジュール確認
2025 年 7 月 26 日（土） - 8 月 1 日（金）	海外研修 パプアニューギニア	・ 大使館表敬、JICA 事務所訪問 ・ 教育関係プロジェクトサイト視察 ・ 現地で活動する JICA ボランティア活動視察 ・ 現地学校関係者等との意見交換、振り返り など
2025 年 8 月 12 日（火）	研修レポート提出 （ドラフト）	海外研修での学びを踏まえ、各自で作成したレポートを提出
2025 年 8 月 22 日（金） （終日）	事後研修（対面） 会場：JICA 市ヶ谷ビル	研修レポートの共有および帰国報告会に向けての準備
2025 年 9 月 10 日（水） 18:30-20:00	帰国報告会（オンライン） 一般公開	・ 本研修を通じて得た経験、知見の共有 ・ 国際理解教育/開発教育の推進についての意見交換 など
2025 年 9 月 24 日（水）	研修レポート提出 （最終版）	事後研修および帰国報告会を踏まえて、研修レポート（最終版）を完了し提出

※プログラム詳細は、参加者決定後、運営事務局から別途ご連絡します。

※各プログラムの内容や時間は変更になる場合がありますことをご了承ください。

4. 実施体制

主催： 独立行政法人 国際協力機構（JICA）広報部地球ひろば推進課

運営事務局：一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

※運営事務局：研修の円滑な実施運営のため、JICA が委託する外部機関で構成する運営事務局を設置し、同事務局を通じ、研修参加者に対する連絡・調整を行います。

5. 募集人数

10 名

6. 応募条件

以下の①または②のいずれかに該当するとともに、③～⑨を満たす方。

- ① 小・中・高校、特別支援学校等の校長・教頭職の方。（主幹教諭を含む）
- ② 都道府県・市区町村の教育委員会（教育センターを含む）において、初等中等教育を担当する方（指導主事以上）。
- ③ 過去に JICA 教師海外研修（教育行政コース）への参加経験が無い方。
- ④ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、上記研修プログラムの全日程に参加できること（6 月 21 日の事前研修（オンライン）は、止むを得ず参加できない場合は、録画視聴を可とします。）。
- ⑤ オンライン会議ツール（Zoom を想定）を用いた研修に対応可能であること。（パソコン、インターネットに接続できる環境など）
- ⑥ 本研修を通じて得られた学び・成果を所属先及び各地域の教育委員会、各種教員ネットワーク（研究会、勉強会等）の場において積極的に共有・紹介する意欲のあること。
- ⑦ 研修参加後、学校現場や各地域の教育委員会等において、JICA 国内拠点や各県所在の JICA デスク（国際協力推進員）等と連携・協力しながら、国際理解教育/開発教育を継続的に普及・促進する意欲のあること。
- ⑧ 研修参加後 2 年間、国際理解教育/開発教育推進のための自身の取り組みに関する報告書を JICA へ提出すること。（年 1 回：形式自由）
- ⑨ 本研修参加後に、学校現場や各地域の教育委員会等で国際理解教育/開発教育を継続的に実践・推進するのに十分な勤続年数あるいは活動の場を有すること。

7. 応募方法

応募特設サイトにアクセスし、必要事項を記入、応募書類（必須）を添付の上、ご応募ください。

応募特設サイト URL： <https://j-gift.org/jica-hiroba-kyokaiken/>

【応募書類】

○本研修への応募理由

○学校教育における国際理解教育/開発教育を推進していくためのご自身の考え

上記 2 点をそれぞれ 500～800 字程度で記載してください。文書は Word などで作成の上、ファイルを応募フォームに添付してください。

8. 応募締切

2025 年 5 月 19 日（月）午前 10 時

9. 参加決定について

6 月上旬に運営事務局より応募者全員にご連絡します。

10. 参加費用について

(1) 以下の経費について、JICAの旅費規定に基づき、JICAが負担します。

- 事前研修・事後研修のための国内移動（自宅～研修場所）に係る交通費および宿泊費（宿泊費は該当者のみ）
- 往復航空運賃および燃油サーチャージ
- 海外研修のための国内移動（自宅～羽田空港もしくは成田空港）に係る交通費および宿泊費（宿泊費は該当者のみ）
- 羽田空港もしくは成田空港および海外での空港使用税
- 訪問国（パプアニューギニアを予定）への入国に必要な査証申請のための費用
- 往復航空券手配にかかる手数料
- 海外旅行傷害保険加入費

(2) 下の経費については、個人負担となりますのであらかじめご理解ください。

国内研修（事前研修/事後研修）

- 研修参加における食費、その他個人的な費用

海外研修

- パスポート取得にかかる費用
- 海外研修中の食費および宿泊費（全旅程で 18 万円程度を想定。為替相場により変動する場合があります。）
- 予防接種費用（任意）
- その他個人的な費用

11. その他

- 参加者の研修中の扱い（年休／研修（職専免））などは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- 本研修では、JICA における労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・活用いただけるよう、JICA 地球ひろば HP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、ご協力をお願いいたします。本研修結果を取りまとめた報告書は公開となります。過去の報告書は以下のページで公開しています。

<https://www.jica.go.jp/Resource/hiroba/program/practice/teacher/report.html>

- 個人情報に関するお願い

※応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、本研修以外の JICA の研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICA の内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。

<https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm>

- 学校教育を支援する取り組みとして、雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等に研修参加者の皆様のご協力をいただいております。また、研修参加者の皆様に研修やイベント参加の情報提供を行っております。
- 研修参加後の国際理解教育/開発教育推進のための取り組みについてアンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いします。

以上

<問い合わせ先>

一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)
(JICA 地球ひろば・教員向け研修運営事務局)

TEL : 03-4577-6767 E-mail : jica-edu@j-gift.org